



# 本気・根気・元気

令和6年4月12日発行【第1号】

発行者：佐賀市立昭栄中学校

校長 永田康子

学校教育目標：夢に向かって たくましく 挑戦する生徒の育成 - 自律・協働 -

生徒会スローガン：飛翔～impossible is nothing～

辺りの草木が春の息吹に包まれ、美しい花が咲き、今まさに春爛漫です。新入生160名を迎え、生徒総数484名で令和6年度の佐賀市立昭栄中学校の教育活動がスタートしました。お子様のご進級、ご入学、誠におめでとうございます。

今年度も引き続き校長を務めます永田康子です。どうぞよろしくお願いいたします。入学式の式辞でも申し上げましたが、昭栄中学校は、昨年度創立70周年を迎えた歴史ある学校です。卒業生は2万人を超え、生徒信条「大いなる理想を胸に今日を最高に生きん」、そして昭栄魂である「奉仕の精神」「三気精神（本気・根気・元気）」は、これまでの先輩から脈々と受け継がれている精神です。484名の昭栄中の生徒たちには、これらを胸にこの学び舎で大いに学んでほしいと期待しています。今年度も、本校の教育活動の一層の充実と発展のために、本校全職員とともに尽力する所存です。今年度も、保護者の皆様には本校の教育活動について、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 令和6年度 学校教育目標について

夢に向かって たくましく 挑戦する生徒の育成 - 自律・協働 -

本校の教育目標は「夢に向かって たくましく 挑戦する生徒の育成 - 自律・協働 -」です。これは、どのような時代であろうとも変わらず求められる姿ですが、予測が困難な時代であるからこそ、なおのこと夢に向かって、様々なことに興味を持ち、たくましく挑戦してほしいと思います。生徒たちには、「学校は、『夢に向かって、たくましく挑戦する』練習をする場所だ」と伝えています。何かに挑戦するとき、失敗はつきものです。失敗してもやり直せるのが学校です。ご家庭でもたくましく挑戦しようとする背中を押していただければと思います。以下は4月8日（月）の始業式で2年生、3年生に話した内容の一部です。1年生にも伝えたいので紹介します。

（修了式で話したセレンディピティについての続き）「幸運な偶然を引き寄せる力」を得るためのポイント1は、様々なことに興味を持ち、意識的に行動することです。広い視野をもって物事を見たり、いつもとは違う行動をしたりすること。ポイントその2は、変化を受け入れられるかどうかということです。私たちはだれでも生きていれば、今まで出会ったことがないような人、出会ったことがないような考え方に出くわすことがあります。その時に、それを受け入れられるかどうか、それを転機として、自分を変えていけるかどうか。今まで出会ったことがないことに会おうと、戸惑ったり、ためらったり、不安で気持ちが揺れたりします。しかし、その不安定さに耐える。もしくは、その不安定さを受け入れる。そうするとセレンディピティが育ちます。新しいものと出会うとき、不安や恐怖のようなネガティブな感情が沸いてきがちです。そうであっても自分で意識して、新しいものに対してかたくなに抵抗しないで、楽しむことを選択してほしいと思います。学校はみなさんが、夢に向かって、たくましく挑戦する練習をする場所であり、新しいことを仲間と共に学んで、楽しく過ごすところであることを忘れないでください。そして、そういう昭栄中学校にするのは、みなさんたちの力です。お互い切磋琢磨し、認め合い、高め合い、共に伸びていける環境を自分たちでつくり上げていくことを期待しています。